

第19回

あだち地域農業振興大会

13:00～ 開会式

～講演～

13:30～ (60分)

『始まった！ブランド米の戦国時代
ー産地間食味・品質競争の生き残りへー』

講師：株式会社食糧問題研究所

月刊食糧ジャーナル編集長 伊藤博司氏

14:30～ (45分)

『平成30年以降の福島県水田農業の推進方針について』

講師：JA福島中央会

常任参与 川崎史郎氏

～農業実践活動発表～

15:30～

安達東高等学校農業研究発表 (15分)

「Bee (蜂) Ambitious! ～養蜂を利用した『第3のみつ』の商品開発～」

15:50～

ソーラーパルサーを導入した露地きゅうりの省力化栽培について (20分)

16:15 閉会

【日時】平成29年2月4日(土)

開場 12時00分

開会 13時00分

【場所】大玉村農村環境改善センター

大玉村玉井西庵183

主催：あだち地域農業振興協議会

(二本松市・本宮市・大玉村・JAふくしま未来)

問い合わせ先：JAふくしま未来 安達地区農業振興課 TEL 33-2739

講演

I. 始まった！ブランド米の戦国時代

ー産地間食味・品質競争の生き残りへー

国内の米消費量が毎年8万トンペースで減少し続けるなか、所得増大を図るにはどのような取組みが必要かについて、全国主要産地のブランド米のさまざまな取組みや、小売業・卸売業・消費者動向等を交えご講演をいただきます。

II. 平成30年以降の福島県水田農業の推進方針について

平成30年以降、国による生産数量目標の配分がなくなります。平成30年を目前に迎えた現在、過剰作付けにより米価が下落しないようにするにはどのような対策が必要で、どのような取組みをするべきかについて、ご講演をいただきます。

農業実践活動発表

I. 安達東高等学校 養蜂への取組

リンゴ風味の「第3のみつ」を作るプロジェクトの取組みを開始、試行錯誤の末はちみつ「おにばばのなみだ」試作品の完成。

この取り組みは復興庁主催による『「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2016「学生分野」』にて最優秀賞、協賛企業であるJR東日本よりJR東日本賞をW受賞。

今後、改良を重ね完成品を目指す。商品は都内にあるアンテナショップや百貨店での販売を展開予定。

高校生の新しいチャレンジを発表していただきます。

II. ソーラーパルサーを導入した露地きゅうりの省力化栽培について

ソーラーパルサーとは、ソーラーパネルで稼働する小型の水中ポンプで高所に設置したタンクに汲み上げ、落差により自動で点滴かん水するシステムです。実証圃場における生育結果やコストパフォーマンス等の導入効果について発表していただきます。